

一 次の文章を読んで、後の問一～問十三に答えなさい。

「①天は人の上に人を造らず、人の下に人を造らず」と言われている。

つまり、天が人を生み出すに当たっては、人はみな同じ権理(権利)を持ち、生まれによる身分の上下はなく、万物の霊長たる人としての身体と心を働かせて、この世界のいろいろなものを利用し、衣食住の必要を満たし、自由自在に、また互いに人の邪魔をしないで、それぞれが安楽にこの世をすごしていけるようにしてくれているということだ。

しかし、この人間の世界を見渡してみると、賢い人も愚かな人もいる。貧しい人も、金持ちもいる。また、社会的地位の高い人も、低い人もいる。こうした雲泥の差と呼ぶべき違いは、どうしてできるのだろうか。

②その理由は非常にはつきりしている。『実語教』という本の中に、「人は学ばなければ、智はない。智のないものは愚かな人である」と書かれている。つまり、賢い人と愚かな人との違いは、学ぶか学ばないかによってできるものなのだ。

また世の中には、難しい仕事もあるし、簡単な仕事もある。難しい仕事をする人を地位の重い人と言い、簡単な仕事をする人を地位の軽い人という。およそ心を働かせてする仕事は難しく、手足を使う力仕事は簡単である。A、医者・学者・政府の役人、また大きい商売をする町人、たくさんのお金を使う大きな農家などは、地位が重く、重要な人と言える。

X 地位が高く、重要であれば、自然とその家も富み、下のものから見れば到底手の届かない存在に見える。B、そのもとを見ても見てもいくと、ただその人に学問の力があるかないかによって、③そうした違いができただけであり、天が生まれつき定めた違いではない。

西洋のことわざにも、「天は富貴を人に与えるのでなく、人の働きに与える」という言葉がある。C、人は生まれたときには貴賤や貧

富の区別はない。ただ、しつかり学問をして物事をよく知っているものは、社会的地位が高く、豊かな人になり、学ばない人は貧乏で地位の低い人となる、ということだ。

〔中略〕

世の中で学問のない国民ほど哀れで a ニクむべきものはない。知恵がないのが極まると恥を知らなくなる。自分の無知ゆえに貧乏になり、経済的に追い込まれたときに、自分の身を反省せずに金持ちをうらんだり、はなはだしくなると、集団で b ランボウをするということもある。

これは恥知らずであり、法を恐れない行為である。世の中の法律を頼りにして、身の安全を保って社会生活をしているにもかかわらず、依存するところは依存しておきながら、都合が悪くなると自分の私利私欲のために法律を破ってしまうやつがいる。④矛盾していないだろうか。

もともと c 家柄がよく、財産があるものも、お金を蓄えることは知っていないながら、自分の子どもや孫をきちんと教育することを知らない。きちんと教育されなかった子どもたちが、また愚かになっていくことも不思議ではない。そうした人間は、やりたい放題をするようになって先祖から受け継いだ財産もすぐになくしてしまう。こうした愚かな民を支配するには、道理で論しても無理なので、威力でおどすしかない。

西洋のことわざにある「⑤愚かな民の上には厳しい政府がある」というのはこのことだ。これは政府が厳しいというより、民が愚かであることから自ら招いたわざわいである。愚かな民の上には厳しい政府があるとすれば、よい民の上にはよい政府がある、という理屈になる。

【ア】いまこの日本においても、このレベルの人民があるから、このレベルの政府があるのだ。もしも、国民の徳の水準が落ちて、より無学になることがあったら、政府の法律もいっそう d 厳重になるだろう。【イ】法律が厳しかったり寛容だったりするのは、ただ国民に徳があるかないかによって変わってくるものなのである。

厳しい政府を好んで、よい政治を嫌うものは誰もいない。【ウ】自国が豊かになり、強くなることを願わないものはいない。外国に A あなどられることをよしとするものもない。これは人の当然の感情である。【エ】

いまの世の中に生まれて、国をよくしようと思うものは、何もそれほど苦悩する必要はない。大事なことは、人としての当然の感情に基づいて、自分の行動を正しくし、熱心に勉強し、広く知識を得て、それぞれの社会的役割にふさわしい知識や人間性を備えることだ。そうすれば、政府は政治をしやすくなり、国民は苦しむことがなくなり、お互いに責任を果たすことができる。そうやってこの国の平和と安定を守ることが大切なのだ。私がすすめている学問というものも、ひたすら⑥これを目的としている。

本編は、私の e コキョウの中津に学校を開くにあたって、なぜ学問をすべきなのかということ、古くからの友人たちに示そうとして書いたものである。

ある人がこれを見て「この本を中津の人だけに見せるのはもったいないから、広く世間に公表してその益を広げるのがよいのではないか」というすすめがあったので、慶應義塾で印刷して、慶應義塾の同志に見せることにしたのである。

〔語注〕

実語教・・・平安時代から江戸時代に出版された児童教訓書

富貴・・・富んで貴いこと

貴賤・・・身分の高い人と低い人

はなはだしくなる・・・普通の程度を超えている

中津・・・大分県西北端の市

慶應義塾・・・現在の慶應義塾大学のこと

【⑦】 齋藤孝 訳 『学問のすすめ』

問一 二重傍線部 a と e の漢字はひらがなに、カタカナは漢字に直しなさい。

問二 空欄 A と C に当てはまる言葉として適当なものを次の (ア) ～ (カ) よりそれぞれ一つ選び、記号で答えなさい。

A	(ア) または	(イ) しかし	(ウ) むろん	(エ) だから	(オ) あるいは	(カ) たとえば
B	(ア) だから	(イ) むろん	(ウ) しかし	(エ) または	(オ) たとえば	(カ) そして
C	(ア) ただし	(イ) つまり	(ウ) または	(エ) しかし	(オ) たとえば	(カ) あるいは

問三 傍線部①「天は人の上に人を造らず、人の下に人を造らず」とあるが、どういう意味の言葉か。その説明として適当なものを次の (ア) ～ (エ) より一つ選び、記号で答えなさい。

- (ア) 全ての人々は同じ権利を持っているので、身分の上下はないということ
- (イ) 全ての人々は身分の上下を乗り越えて同じ権利を保つべきだということ
- (ウ) 全ての人々は天によって賢い人と愚かな人とに分けられているということ
- (エ) 全ての人々は生まれながらに身分の上下がなく同じ権利を持っているということ

問四 傍線部②「その理由」とあるが、「その」が指す内容として適当なものを次の (ア) ～ (エ) より一つ選び、記号で答えなさい。

- (ア) 世間の人々が社会的な地位を意識してしまう理由
- (イ) 世間の人々に比べて金持ちになりたいと考える理由
- (ウ) 世間の人々の中で賢い人なのに貧しくなる理由
- (エ) 世間の人々の間に賢い人と愚かな人などの違いができる理由

問五 空欄 X に入る語句として適当なものを次の (ア) ～ (エ) より一つ選び、記号で答えなさい。

- (ア) 学問的
- (イ) 地域的
- (ウ) 家庭的
- (エ) 社会的

問六 傍線部③「そうした違い」とあるが、筆者は何によって違いができると述べているか。本文中より十一字で抜き出しなさい。

問七 傍線部④「矛盾」という言葉があるが、その使い方が正しいものを次の (ア) ～ (エ) より一つ選び、記号で答えなさい。

- (ア) 完璧な作品にするために何度も矛盾を重ねる
- (イ) より良く見せようと付け加えたことが矛盾となる
- (ウ) 昨日言ったことと今日言っていることが矛盾している
- (エ) 本番に向けて入念に準備を進めたが矛盾に終わった

問八 傍線部⑤「愚かな民の上には厳しい政府がある」とあるが、これはどのような意味か。その説明として適当なものを次の (ア) ～ (エ) より一つ選び、記号で答えなさい。

- (ア) 政府が厳しく取り締まることで国民は政府に任せきりになり、愚かな国民が増えていくということ
- (イ) 愚かな行爲を取り締まるためにルールが厳しくなり、愚かな国民のせいで厳しい政府ができるということ
- (ウ) 政府が国民を取り締まるためにルールを厳しくし、それに反発するために愚かな国民が生まれるということ
- (エ) 政府が愚かなルールを作るため、国民は政府を無視して自主的に動き、政府も国民も愚かな結果になるということ

問九 次の一文を入れるのに適当な箇所を本文中の【ア】～【エ】より一つ選び、記号で答えなさい。

《もし反対に、国民がみな学問を志して物事の筋道を知って、文明を身につけるようになれば、法律もまた寛容になっていくだろう。》

問十 傍線部⑥「これを目的としている」とあるが、何を目的としているか。本文中より十四字で抜き出しなさい。

問十一 この本文は「学問のすゝめ」を現代語訳したものである。【⑦】にはこの「学問のすゝめ」の著者名が入る。この著者名を次の (ア) ～ (エ) より一つ選び、記号で答えなさい。

- (ア) 森鷗外
- (イ) 芥川龍之介
- (ウ) 福沢諭吉
- (エ) 夏目漱石

問十二 傍線部A「あなどられる」とあるが、「あなどる」の意味として正しいものを(A)～(E)より一つ選び、記号で答えなさい。

- (A) 相手をみくびること (イ) 相手をうやまうこと (ウ) 相手をおとしめること (エ) 相手をうらやむこと

問十三 本文の内容に関する佐藤先生と山田くんの会話を読んで、後の(i)～(iii)の問いに答えなさい。

山田くん 「この文章はあの有名な『学問のすゝめ』の現代語訳版なのでね。初めて読みました。」

佐藤先生 「生徒たちから「なぜ勉強をするのか」という質問をよくされるのですが、これを読んでヒントにしてほしいです。」

山田くん 「医者とか学者とか偉い人は【①】とと思っていたのですが、始めはみんな同じで、そこからどれだけ努力して勉強するかの違いができるという話ですね。」

佐藤先生 「その通りです。頭が良いからテストの点数が良いのではなく、【②】したから点数が良くて、結果的に頭が良いと周りから言われるのです。」

山田くん 「クラスでトップの鈴木くんは「鈴木くんは頭が良いからな」と言っていました。」

佐藤先生 「次は鈴木くんの「努力」を認めてあげてください。」

山田くん 「はい。僕も負けないように頑張ります。佐藤先生、この西洋のことわざ【愚かな民の上には厳しい政府がある】を簡単に言うかどうかという意味ですか？」

佐藤先生 「身近な例でいうと、たとえば家に帰るのがとても遅くなって怒られてしまったら、次の日からどうなりそうですか？」

山田くん 「きつと次の日から門限ができて早く帰らないといけなくなりそうですね。」

佐藤先生 「このことわざもそういうことです。悪い状況を取り締まるために厳しい決まりができる。ひどい【X】はひどい【Y】が作るということです。」

山田くん 「なるほど。とても勉強になりました。」

(i) 空欄【①】に入る適切な表現を次の(A)～(E)より一つ選び、記号で答えなさい。

- (A) たくさん勉強をしてきた (イ) 勉強が好きだ (ウ) 勉強をしなくてもいい (エ) 生まれつき勉強ができる

(ii) 空欄【②】に入る適切な表現を佐藤先生と山田くんの会話より二字で抜き出しなさい。

(iii) 空欄【X】と【Y】に入る適切な語句の組み合わせを次の(A)～(E)より一つ選び、記号で答えなさい。

- (A) X政府 Y国民 (イ) X国民 Y政府 (ウ) X政府 Y政府 (エ) X国民 Y国民

二 次の文章を読んで、後の問一～問八に答えなさい。

東北院の菩提講始めける聖はもといみじき悪人にて、人屋に七度ぞ入りたりける。七度といひけるたび、検非違使ども集まりて、これはいみじき悪人なり。一二度人屋にみんだに人としてはよかるべきことかは。ましていくそばくの犯しをして、かく七度までは、①あさましくゆゆしきことなり。この度これが足斬りてんと定めて、足斬りに率て行きて斬らんとする程に、いみじく相人ありけり。それがものへ行きけるが、②この足斬らんとする者に寄りていふやう、この人おのれに許されよ。これは必ず往生すべき相ある人なりといひければ、③よしなきこといふ、ものも覚えぬ相する御坊かなといひて、ただ斬りに斬らんとすれば、その斬らんとする足の上へのぼりて、この足のかはりに我が足を斬れ。往生すべき相ある者の足斬られては、いかでか見んや。おうおうとをめきければ、斬らんとする者ども、④しあつかひて、検非違使に、⑤かうかうのこと侍りといひければ、やんごとなき相人のいふことなれば、さすがに用ひずもなくて、別当に、かかることなんあると申しければ、⑥さらば許してよとて、許されにけり。その時この盗人、心おこして法師になりて、いみじき⑦聖になりて、この菩提講は始めたるなり。相かなひて、いみじく終はりとりてこそ失せにけれ。

かかれれば、高名せんずる人は、その相ありとも、おぼろけの相人の見ることにてもあらざりけり。

(宇治拾遺物語 『いみじき相人』)

(語注) 菩提講・・・極楽往生のため法華経を講説する法会

人屋・・・牢屋のこと

聖・・・徳の高い立派な人

検非違使・・・犯罪を取り締まり、治安の維持に努めた役人

一二人屋にみんだに人としてはよかるべきことかは・・・一、二度牢屋に入るのさえ、人としては良いことだろうか。いや、良いはずはないいくそばく・・・何度も

あさましくゆゆしきことなり…驚きあきれたひどいことである

この度これが足斬りてんと定めて・・・今回いつの足を斬ってしまったおうと決めて足斬りに率て行きて斬らんとする程に・・・足を斬る所に引き連れて行って斬らんとする時に

ものへ行きける・・・たまたま通りがかった

相人・・・人相を見る人

この人おのれに許されよ・・・この人を私に免じてお許しなされ

よしなきことをいふものも覚えぬ相する御坊かな・・・つまらないことを言う、ものもわからない人相見をするお坊さんなことだ

ただ斬りに斬らんとすれば・・・もう今にも斬ろうとすると

をめきければ・・・大声で叫んだので

しあつかひて・・・扱いかねて

かうかうのこと侍り・・・これがごさいます

やんごとなき・・・格別な

さすがに用ひず・・・やはり(その意向を)とりあげない

別当・・・検非違使たちの長官

かかることなんある・・・このようなことがある

心おこして・・・仏道心をおこして

相かなひて・・・(人相見が見た) 相にびったり合って

終はりとりてこそ失せにけれ・・・極楽往生を遂げて亡くなった

問一 傍線部①「あさましくゆゆしきこと」とあるが、何のことを指しているのか。本文より十二字で抜き出さない。(句読点は含まない)

問二 傍線部②「この足」とあるが、誰の足のことか。適当なものを次の(ア)～(エ)より一つ選び、記号で答えなさい。

(ア) 菩提講始めける聖 (イ) 検非違使 (ウ) いみじき相人 (エ) 斬らんとする者

問三 傍線部③「よしなきこといふ」とあるが、何と言ったことを指しているのか。本文中から二十五字以上三十字以内で抜き出し、初めと終わりの四字を答えなさい。(句読点を一字と含む)

問四 傍線部④「しあつかひて」の歴史的仮名遣いを現代仮名遣いに直し、すべてひらがなで答えなさい。

問五 傍線部⑤「かうかうのこと」とあるが、どのようなことがあったのか。適当なものを次の(ア)～(エ)より一つ選び、記号で答えなさい。

(ア) 悪人の代わりに自分の足を斬れと相人がかばったこと

(イ) 足を斬ろうと思ったがかわいそうになってしまったこと

(ウ) 足を斬った人は往生できなくなると相人に言われたこと

(エ) 悪人が相人に往生するから助けてほしいと叫んだこと

問六 傍線部⑥「さらば許してよ」とあるが、誰を許すということか。適当なものを次の(ア)～(エ)より一つ選び、記号で答えなさい。

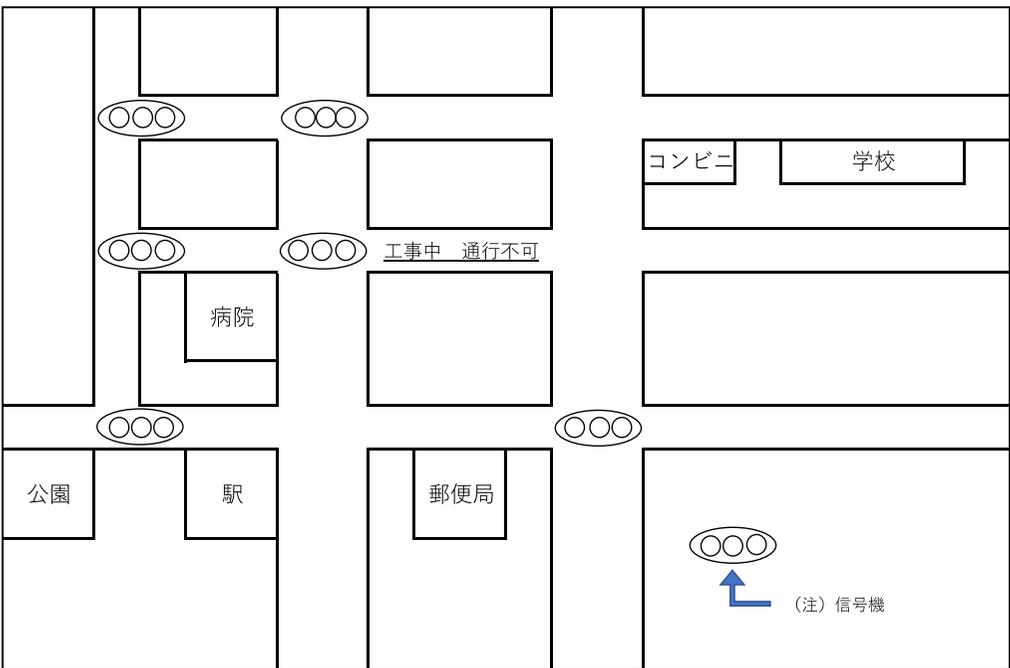
(ア) いみじき悪人 (イ) 検非違使 (ウ) いみじき相人 (エ) 別当

問七 傍線部⑦「聖になりて」とあるが、聖になる前はどのような人物であったかを本文中より二字で答えなさい。

問八 『宇治拾遺物語』と同じ説話集の作品として適当なものを次の(ア)～(エ)より一つ選び、記号で答えなさい。

(ア) 『平家物語』 (イ) 『古今和歌集』 (ウ) 『今昔物語集』 (エ) 『徒然草』

三 次の地図を見て、兄と弟の会話の空欄（①）～（④）に入る適切な語句を（ア）～（ク）よりそれぞれ一つ選び、記号で答えなさい。（同じ記号を何度選んでもよい）



弟「お兄ちゃん、駅から学校までの行き方を教えてよ。」
 兄「駅から（①）に向かって歩いて、一つ目の信号を（②）に曲がって、一つ目の交差点を（③）に曲がって、コンビニがある交差点で右に曲がれば、そのコンビニの隣に学校があるよ。この道が早いよ。」
 弟「その道は工事中で通れないって、お母さんが言ってたよ。」
 兄「じゃあ、駅から（④）に向かって歩いて、一つ目の信号を左に曲がって、コンビニまで行く道が信号も少なく早く行けると思うよ。」
 弟「ありがとう、明日からその道で行ってみる」

- （ア）右 （イ）左 （ウ）公園 （エ）病院
 （オ）駅 （カ）郵便局 （キ）コンビニ （ク）学校

四 漢字や四字熟語に関する次の各問いに答えなさい。

問一（ ）に漢字一字を入れ、四字熟語を完成させなさい。

- ① 一（ ）発起 ② （ ）若無人 ③ 絶（ ）絶命 ④ 厚顔無（ ） ⑤ 五里（ ）中

問二 次の①～⑤の（ ）に身体の一部を表す漢字一字を入れ、慣用表現を完成させなさい。

- ① とても偉い人なのに（ ）が低い。
 ② 次こそは勝ちたいと思つて必死に（ ）を磨いた。
 ③ 兄の秘密を母から聞かれて、（ ）を滑らせてしまった。
 ④ 怪しい組織とは（ ）を切った。
 ⑤ 怪我人がいないと聞いて（ ）をなでおろす。

五 次の客と店員の会話における傍線部の敬語の使い方についての説明として適当なものを（ア）～（エ）よりそれぞれ一つ選び、記号で答えなさい。（同じ記号を何度選んでもよい）

- （客） 昨日、十二時に予約した田中と申し①ます。
 （店員） 田中様ですね。確かにご予約を②うけたまわっております。こちらの席にどうぞ。
 （店員） ご注文は何に③なさりますか。
 （客） これを一つお願いします。
 （店員） 承知しました。しばらくお待ちください。
 （店員） 失礼します。ご注文のラーメンをお持ちいたしました。どうぞ④いただきてください。
 （客） ありがとうございます。⑤いただきます。

- （ア）尊敬語として使われている （イ）謙讓語として使われている
 （ウ）丁寧語として使われている （エ）間違つた使われ方になっている

問題は以上で終わりです。

模範解答

国語

問題番号	答の欄	採点欄	問題番号	答の欄	採点欄		
問一	a	憎	二	人	3		
	b	乱暴		屋			
	c	いえがら		に			
	d	げんじゅう		七			
	e	故郷		度			
問二	A	ア イ ウ エ オ	問一	ぞ	3		
	B	ア イ ウ エ オ	入				
	C	ア イ ウ エ オ	り				
問三	ア イ ウ エ	2	問二	ア イ ウ エ	2		
問四	ア イ ウ エ	2	問三	初め	3		
問五	ア イ ウ エ	2	終わり	こ			
問六	学	問	の	力	が	3	
	あ	る	か	な	い		
	か						
問七	ア イ ウ エ	2	問四	しあつかいて		2	
問八	ア イ ウ エ	2	問五	ア イ ウ エ	2		
問九	ア イ ウ エ	2	問六	ア イ ウ エ	2		
問十	こ	の	国	の	平	3	
	和	と	安	定	を		
	守	る	こ	と			
問十一	ア イ ウ エ	2	問七	悪	人	*「盗人」でも可	2
問十二	ア イ ウ エ	2	問八	ア イ ウ エ	2		
問十三	i	ア イ ウ エ	2	問九	①	ア イ ウ エ オ カ キ ク	2
	ii	努	力		②	ア イ ウ エ オ カ キ ク	2
	iii	ア イ ウ エ	2	③	ア イ ウ エ オ カ キ ク	2	
問十四	①	ア イ ウ エ	2	④	ア イ ウ エ オ カ キ ク	2	
	②	ア イ ウ エ	2	問一	①	念	2
	③	ア イ ウ エ	2		②	傍	2
	④	ア イ ウ エ	2		③	体	2
	⑤	ア イ ウ エ	2		④	恥	2
					⑤	霧	2

受験番号		名前		得点	
------	--	----	--	----	--